

ぽれぽれ 通信

良きものは残り、
改めるものは改める

5・6月号
vol.34



古民家 再生議員連盟 設立

用することを推進する議員連盟が設立した。会長には元国土交通大臣の金子一義衆議院議員が就任、山本は議連活動の実務を取り仕切る幹事長代理を拝命した。同議連では、古民家の再生・活用が地域コミュニティの復活、地方移住の促進、空き家問題の解消などに貢献する、また外国人観光客の地方滞在需要の増加につながる可能性があると考え、古民家再生・活用における諸課題についての検討を進めている。

古民家再生のため 資金準備、しかし…

実は、古民家を維持・再生するのは、かなりの労力を要し、易しいものではない。例えば、自宅を増改築したい場合、裕

古民家、最近、マスコミなどでも取り上げられる機会が増え、聞いたことがある方も多いことだろう。では、「古民家とは何か?」と聞かれたら、どうか。「昔ながらの古い家」と答える方が多いのではないか。実は、古民家には明確な定義がない。諸説あり、主なものとして建築後50年以上経

過した建物とする説と、昭和25年の建築基準法制定以前に建てられた伝統工法による建物とする説がある。本紙では、後者の建築基準法以前の伝統工法によって建てられた物を古民家として論ずる。昨年11月、山本が発起人としてかねてより設立の準備を進めていた、古民家を再生・活

福な方なら自己資金で行うが、普通は住宅ローンを組むなど金融機関から資金を借り入れて行うことが多い。しかし、古民家となると金融機関から資金を借りることができない。なぜならば、建築基準法以前に建てられた物は、既存不適格とされ、価値のないものと解釈されて、融資を行わない金融機関があるからである。これはかなり厳しいハードルだ。また木造建物（住宅用）の減価償却資産の耐用年数は22年とされており、土地建物を売買する際にも古民家は価値ゼロとされてしまう。土地だけの売買、あるいは、古民家を取り壊し更地にする費用を差し引かれての土地の売買になるなど、全くもって古民家は大切にされていない。

古民家の所有者の立場から考えても、住み易くするためのリフォームや増改築を検討する際、それらをすべて自己資金で賄うか、古民家を壊し新築にして住宅ローンを組み融資を受けるか、どちらを選択することになるのかは想像に容易い。

（独）住宅金融支援機構が民間金融機関と提携して皆様に提供しているフラット35という長期固定金利住宅ローンがある。同機構は、「フラット35は、『ずっと固定金利の安心』で大切なマイホームの取得とその後のライフプランをサポートします。」とうたっている。もちろん、条件が合えば皆様も活用されたら良いと思うが、こと古民家に限れば、このフラット35を利用す

るのも極めて困難なのだ。ある古民家を立て直すべくフラット35を活用しようとした際、古民家は木材が地面近くにあるので、コンクリートで高さ40cmの基礎を新たに作らなければ融資できない、と言われた事例がある。その古民家は建築基準法以前の建物なので、コンクリートの基礎など、もちろん無い。因みに、コンクリートの耐久年数は70年、その古民家は築180年なのだ。築180年の立派な家に、新たに70年しか持たないコンクリートの基礎を打たないと融資の対象とならないのが今の現実なのである。

議連と政府 動きだした「両輪」

この様に一筋縄ではいかない

山本ともひろ 活動レポート

厳しさの中、それでも山本などを発起人とし、議員連盟立ち上げなどと党自民党の中で積極的な活動を展開した昨年。すると政府もそれに呼応するように今年になり民間有識者による「歴史的資源を活用した観光まちづくり専門家会議」と省庁横断の「歴史的資源を活用した観光まちづくり連携室」を設置。古民家の活用に対して本格的に乗り出してきた。山本は、政府のその一連の動きを見るや否や、(一社)全国古民家再生協会の役員の方々を総理官邸に連れて行き、菅義偉内閣官房長官に古民家の再生と活用についての問題点と課題、そして今後の展望について熱弁を振るった。菅長官から「良くわかった。政府としても全面的にバック

アップしていく」との返答をもらうに至ったのである。同協会の役員の方々は、同議員連盟と政府とが、両輪となって古民家の再生・活用に向けて動き始めた瞬間を目の当たりにすることになった。同議員連盟では、古民家など歴史的建造物に関する建築基準法の適用除外にするための条例の制定が進んでいない現



状を鑑み、各自治体が条例を制定し易くするためのガイドラインの策定を目指していく。また伝統工法を伝承していくための若手大工の育成支援や、全国各地に広く存在する古民家などの歴史的資源を活用した魅力ある観光政策の策定などを柱とした中間提言をまとめ、政府に申し入れを行っていく予定だ。

山本の地元である神奈川4区(鎌倉市、横浜市栄区、逗子市、葉山町)には古民家がたくさんあり、故郷の京都にも町家と呼ばれる古民家がたくさんある。良いものは残し、改めるものは改める、まさしく山本の日頃の保守としての政治姿勢そのものが、古民家の再生・活用政策に見える。てくる。



ペンペン特別秘書官が質問にお答え！

Q 国会議員は、みんな黒塗りの車に乗って、
運転手さんがいるのですか？

A ハハハ、ドラマや映画の観
過ぎじゃないか!?確かに、
そのような国会議員も永田
町(国会周辺)にはたくさん
いるなあ。でも、それは議員
によってそれぞれだな。因み
に、山本は国会事務所には
車がないので、都内は徒歩
か地下鉄で移動しているぞ。
山本は「車は渋滞するが、地
下鉄は時間が読めるから楽
だ」と言ってる汗だくになっ

て動き回っているよ。地元か
ら国会への通勤も、バス↓
JR↓地下鉄で通っている
な。地元では、黒塗りの車
ではなく街頭宣伝車(通称…
宣車)で動いているよ。運転
は、事故などがあれば大変な
ので必ずスタッフが行ってい
るな。もちろん、山本も運
転は出来るぞ。街で宣車を
見かけたら手でも振ってやっ
てくれよ!

俺のことが気になったら
「山本ともひろ ペンペン」
で検索してくれ!

ペンペンへの質問は
penpen.polepole@gmail.com
にて受け付けております!





駅で「ぼれぼれ通信」を
お配りしております
駅頭活動報告



「あっ！ご本人さんがやってるんですか!？」と。

駅頭活動を始めて、かれこれ5年半、

ずっと本人がやっていますが、

まだまだ本人がやっているのが

浸透してないのだから、と。もっと頑張ろう！

朝の6:30～8:30までの2時間にわたり、4区内の
下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は鞆と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。

前回の「ぼれぼれ通信」配布数

3月・4月集計分

駅名	3月	枚数	4月	枚数	前月比
豆子駅	1日(水)	455	4日(火)	463	➡
新豆子駅	16日(木)	331	5日(水)	221	⬇
鎌倉駅(東口)	3日(金)	357	—	—	※
鎌倉駅(西口)	6日(月)	495	—	—	※
大船駅(西口)	7日(火)	595	—	—	※
大船駅(モノレール口)	8日(水)	272	—	—	※
大船駅(東口)	9日(木)	468	—	—	※
大船駅(笠間口)	10日(金)	316	13日(木)	467	⬆
本郷台駅	13日(月)	398	6日(木)	422	⬆
港南台駅	22日(水)	117	10日(月)	200	➡
	3月配布合計	3,804	4月配布合計	1,773	※

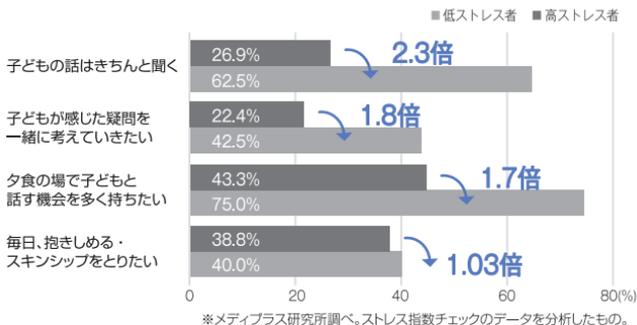
※比較不可。4月は鎌倉市議選のため、山本本人の活動を鎌倉市内は自粛し、各候補者の応援に徹しました。

アドレスは「ぼれぼれ」

twitter、Facebookも本人がやっています
皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。



低ストレス女性と高ストレス女性の子育て方針



今回の分析は子どもがいる女性を対象とし、ストレスの高低で子育て方針の違いを見てみよう。

ストレスの高低と「子育て方針」の関係

上記に、アンケート項目の中で顕著な差が表れたものを挙げた。大きく差がついたのが「子どもの話はきちんと聞く」「夕食の場で子どもと話す」等、子どもとの会話に関する質問。一方で抱きしめるなどのスキンシップはどちらも大切と考えている傾向で、ほぼ同率の回答に。ただ触れ合うだけでなく、話にしっかりと耳を傾け、双方のコミュニケーションを重視することが、子育てにおけるストレスオフのヒントかもしれない。

知

つク

分かりやすいと大人気!

山本ともひろ国会見学ツアー



国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っていきます。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。



山本ともひろ事務所リスト

本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F
TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室
TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

いったいどんな人なの？ 山本ともひろ 解体新書

**自由民主党
衆議院議員 (3期 8年)**

神奈川県神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)

昭和50年(1975年)生まれ

41歳 鎌倉在住

PICK UP!

手・腕

政治家は筆を使わなければいけない場面が多々出てくる。会合に出席した際、受付で芳名録へ自書を書められたり、会費袋に肩書や名前を記したり、支持者から揮毫を求められるなど色々である。一番大変なのは、為書き・必勝ピラなどと呼ばれる選挙の立候補者に提供する大きな書である。しかし、山本は書道を習ったことがないので、見よう見まねで書いている。本人曰く「出来栄ではなく、誠意、心を込めれば良い」だそう。どなたか良い書道教室を紹介してあげて下さい。



経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成24年 衆院選 2期目の当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成26年 衆院選 3期目の当選
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任



ぼれぼれ通信って何？

「ぼれぼれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。

平成29年(2017年) 5月1日発行 第34号

【編集・発行】山本ともひろ後援会ぼれぼれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。